

第5 地域保健福祉の推進

1 各種保健・医療・福祉計画の概要

県では、平成22年度を初年度とする福島県総合計画『いきいき ふくしま創造プラン』を策定しましたが、保健・医療・福祉分野においても、県民の「安心」の実現を図り、次代にわたって信頼できる施策を展開するための新たな基本理念及び基本目標を定めた「福島県保健医療福祉ビジョン」を策定しました。

本ビジョンについては、東日本大震災及び原子力災害の発生に伴い、今年度見直しが行なわれる予定であるが、県民、地域の団体、市町村等とともに、本ビジョンの基本理念である「すこやかで ともにいきいき “安心 ふくしま”」を推進していくために、各個別計画の策定及びその推進を図っていきます。

◎主な各種保健・医療・福祉計画一覧

計 画	国	福 島 県	市 町 村
総合計画		福島県長期総合計画「いきいき ふくしま創造プラン」(H22～H26) ※今年度見直し	基本計画 (基本構想)
保健・医療・福祉の基本理念及び基本目標		福島県保健医療福祉ビジョン(H22～H26) ※今年度見直し	
医療計画		第六次福島県医療計画 (H20～H24) ※今年度改訂 福島県地域医療再生計画 (H21～H25)	
健康増進計画	健康日本21計画 (H13～H22)	健康ふくしま21計画 (H13～H24) ※今年度改訂	健康増進計画
ゴールドプラン 介護保険計画		第六次福島県高齢者福祉計画・第五次福島県介護保険事業支援計画 (H24～H26)	高齢者保健福祉計画 介護保険事業計画
次世代育成支援 対策推進行動計 画	子ども・子育て応援プラン (H17～H21) すこやか親子21 (H13～H22)	うつくしま子ども夢プラン (H22～H26) ※今年度見直し	次世代育成支援対策 推進行動計画
障がい者計画	障害者基本計画 (H15～H24)	福島県障がい者プラン (H22～H26)	障害者計画
地域福祉計画		福島県地域福祉支援計画 (H22～H26)	地域福祉計画

2 地域保健福祉の推進

(1) 相双地域保健医療福祉協議会の開催

相双地域における保健・医療・福祉の施策を展開していくための基本的な計画として策定した「相双地域保健医療福祉推進計画」の推進、進行管理、見直し等を行うため、各分野の関係機関が連携し協議等を行う場として「相双地域保健医療福祉協議会」を設置している。

平成23年度については、震災の影響により新たな「相双地域保健医療福祉推進計画」が未策定の状態となっているため、震災対応等の取組状況及び平成24年度事務所基本方針・重点施策等についての協議を行った。

○開催月日 平成24年3月13日(火)

○委員名簿(平成23年度相双地域保健医療福祉協議会)

No	区分	委嘱機関(役職名等)	氏名	備考
1	医療①	相馬郡医師会長	柏村勝利	副会長
3	②	双葉郡歯科医師会長	宮嶋清憲	副会長
4	③	相馬薬剤師会専務理事	紺野芳江	
5	④	福島県看護協会相双支部長	堀内由美	
6	保健①	相双地区食生活改善推進協議会長	松本登志枝	
7	②	南相馬市健康づくり課長	中里祐一	
8	福祉①	相双地区特別養護老人ホーム連絡協議会長	三瓶政美	
9	②	原町聖愛保育園長	遠藤美保子	
11	③	福島県精神保健福祉協会相双支部長	金森良	
12	④	南相馬市社会福祉協議会長	門馬秀夫	会長
13	一般①	相双動物愛護ボランティア会「しっぽの会」会長	板倉ゆかり	
14	②	NPO法人鹿島ふきのとう理事長	田野入キヨ	
15	③	相馬市老人クラブ連合会長	山野辺久	
16	行政①	相馬地方広域市町村圏組合事務局長	菊池邦啓	
17	②	福島県相双地方振興局長	武義弘	
18	③	福島県相双教育事務所長	小山金也	
19	④	福島県浜児童相談所長	安部智彦	

(2) 地域保健福祉活動推進研修

①放射線と健康に関する研修会

放射線の健康への影響と今後の健康管理を正しく理解することにより、住民が安心して生活できるための対応を身につけるために開催した。

○日時:平成23年10月11日(火)13:30~15:30

○場所:相双保健福祉事務所 2階大会議室

○参加者:51名(相馬地方市町村職員、県南相馬合同庁舎職員)

②新任保健師育成研修会

震災及び原発災害の影響により開催不可能であった。

③自殺関連相談対応者面接技術研修会

震災及び原発災害の影響により開催不可能であった。

④福島県地域保健福祉職員新任研修のフォローアップ研修

震災及び原発災害の影響により開催不可能であった。

(3) 保健医療福祉関係実習生等の受入れ状況

震災及び原発災害の影響により受入不可能であった。

(4) 地域福祉の活動状況

近年の社会経済状況の変化に伴い、国民の生活状況や価値観が多様化し、福祉に対する関心やニーズが高まってきている。これらに対応するためには、地域における住民ニーズに適した福祉等サービスを総合的に提供することが必要で、社会福祉協議会を中心として、民生・児童委員、ボランティアをはじめとする地域住民の積極的な参画や取組みが重要になってきている。

①社会福祉協議会

- ・社会福祉法に基づく社会福祉法人の一つで、地域の社会福祉を総合的に推進する民間団体として、社会福祉関係団体等の行う福祉活動の連絡、調整や福祉サービス等の企画・実施、ボランティア活動の振興、福祉教育・啓発活動を行い、各市町村に設立されている。

②民生委員・児童委員

- ・民生委員法及び児童福祉法に基づき厚生労働大臣の委嘱を受け、援助を必要とする人の相談に応じたり、保健福祉事務所その他の関係行政機関の業務に協力するとともに、広く地域住民の福祉増進のために自主的な活動を行っている。
- ・管内市町村に26の民生委員協議会が設置され、民生・児童委員の定員は508人となっている。

(表1)

③社会福祉法人

- ・社会福祉施設等を設置・運営する社会福祉法人（市町村社会福祉協議会含む）は、極めて公共性の高いものであることから、健全な社会福祉事業の経営と公正な法人運営を確保するための指導・監査を行っている。（※平成23年度は、震災及び原発災害の影響により実施件数が少なかった。）

○平成23年度実績 市町村社会福祉協議会：2法人、社会福祉施設：1法人

④日赤・共同募金

- ・日本赤十字社は、赤十字の財政基盤である社資募集と皆様からの義援金を基に、災害救護活動や防災ボランティアの養成、救急法や家庭看護法等の普及、赤十字奉仕団・青少年赤十字の育成強化、国際救援活動への協力などの事業を行っている。
- ・共同募金は赤い羽根共同募金等を通じて寄付金を募集し、その寄付金を社会福祉事業、更正保護事業、その他の社会福祉を目的とする事業を経営する者に配分している。（表2）

3 出前講座・広報等

(1) 出前講座

地域の方々が快適で健やかな生活を過ごしていただくため、保健・衛生・福祉に関する正しい知識を県民等に伝えるため、地域住民や企業・学校の希望に応じ、職員を講師として派遣する「出前講座」を実施している。（※平成23年度は、震災及び原発災害の影響により実施件数が少なかった。）

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23
実施講座数	90	112	111	152	190	93	85	70	9
のべ受講者数（人）	6,089	9,791	8,005	12,688	15,175	7,370	4,223	2,985	384

(2) 広報等

ホームページについて平成14年4月に開設し、業務の広報及び各種統計資料を地域住民等に情報を提供しており、現在延べ20項目、約200種の情報を掲載している。

(表1)

民生・児童委員の状況

平成24年4月1日現在

市町村名	定数	うち主任児童委員	性別		民生委員協議会			
			男	女	名称	会長	事務局 (電話番号)	
広野町	15	(2)	7	8	広野町民生委員協議会	佐藤 功	広野町(町民課)	0240-47-2115
檜葉町	21	(2)	3	18	檜葉町民生児童委員協議会	野木 桂子	檜葉町社会福祉協議会	(仮事務所) 0242-55-0177
富岡町	33	(2)	14	19	富岡町民生委員協議会	渡辺 光祥	富岡町社会福祉協議会	(仮事務所) 024-935-3345
川内村	13	(2)	1	12	川内村民生委員協議会	河原 英雄	川内村社会福祉協議会	(仮事務所) 024-937-2717
大熊町	27	(2)	7	20	大熊町民生児童委員協議会	秋本 正夫	大熊町社会福祉協議会	(仮事務所) 0242-29-5760
双葉町	20	(2)	6	14	双葉町民生児童委員協議会	羽根田 信	双葉町社会福祉協議会	(仮事務所) 0480-70-0057
浪江町	57	(3)	14	43	浪江町民生委員協議会	豊口 澄子	浪江町社会福祉協議会	(仮事務所) 0243-62-0877
葛尾村	10	(2)	5	5	葛尾村民生児童委員協議会	東海林憲一	葛尾村社会福祉協議会	(仮事務所) 0247-62-8687
新地町	26	(2)	10	16	新地町民生児童委員協議会	菅野 喜一	新地町(健康福祉課)	0244-62-2931
飯館村	29	(2)	15	14	飯館村民生児童委員協議会	石井 延真	飯館村社会福祉協議会	(仮事務所) 024-562-3622
郡部計	251	(21)	82	169		郡部計	10民協	
相馬市	86	(18)	36	50	民	相馬市	9民協	
南相馬市	171	(15)	54	117		南相馬市	7民協	
市部計	257	(33)	90	167	協	市部計	16民協	
合計	508	(54)	172	336		合計	26民協	

(表2)

日本赤十字社相双地区・共同募金相双支会等の状況

各種募金の状況

平成23年度

資金種別	日赤社資			共同募金			歳末助け合い募金
	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	実績額(円)
相馬市	5,068,000	64,000	1.3%	0	68,675	-	2,338,600
南相馬市	9,757,000	171,500	1.8%	0	448,412	-	3,581,096
広野町	765,000	120,000	15.7%	0	47,575	-	505,015
檜葉町	1,099,000	670,000	61.0%	0	2,412	-	500,000
富岡町	2,136,000	0	0.0%	0	4,161	-	1,000,000
川内村	474,000	0	0.0%	0	0	-	300,000
大熊町	1,354,000	6,000	0.4%	0	81,976	-	1,000,000
双葉町	1,044,000	0	0.0%	0	33,950	-	500,000
浪江町	2,961,000	0	0.0%	0	126,100	-	1,500,000
葛尾村	235,000	0	0.0%	0	0	-	300,000
新地町	1,149,000	0	0.0%	0	0	-	500,055
飯舘村	838,000	0	0.0%	0	171,604	-	500,018
合計	26,880,000	1,031,500	3.8%	0	984,865	-	12,524,784

各種募金の配分状況

共同募金（平成23年度一般募金からの平成24年度配分額表）

所在地	施設名	配分額(円)	摘要
相馬市	(N)フリースペースふらっと	250,000	小規模作業所等支援事業
南相馬市	(N)いっぽいっぽあさがお	250,000	〃
計	(2施設)	500,000	